

あおぞらだより

第 161 号 (発行/平成 28 年 10 月)

お楽しみ会

経費

江戸川病院院長 新村ヨシオ



もみじ/院庭

経費はあることをするのに必要な費用のことである。会社を設立する時には運営や生産するため人材や資材を集めなくてはならず、人件費や材料費などを資本が必要になってくる。デフレ経済になってからは、やたらコスト意識を根付かせようと、経営者は社内運動を繰り広げてコスト削減を強制してくる。確かに無駄を省いたり、節約することを義務化するのは納得できるが、最近では客観的に考えても無理な要求が多くなってきた。人件費削減、生産部門での費用対効果を算出して、「経営の健全

化」という美辞で強要されていく。企業は利益を出さなくてはならず、経費を下げることが最優先となることも承知できるが、社員には過酷な義務を課せられる。最近になって、会社の無理な経営戦略のために、社員が苦しんでうつ状態になって来院する人が多くなってきた。人材を減らされても、経費削減を謳われているので補充を希望することもできず、コストを削ることが最優先で現場では追い詰められている。

経費は企業を維持するのに、人件費をはじめ原材料費、光熱費、修繕費など消耗する設備にもお金はかかるものである。初期投資も莫大な資金が必要だが、運営するにも継続的に費用がかかる。それには売り上げを増大し、経費を抑えなければ利益が出ないし、借金を返済し配当金も支払えなくなる。

売り上げを伸ばすため、商品価値を高めようと研究に投資して、更に改良した物を作製するために社員は心血を注いでいる。それを支援するのが経営者であり、資本を投下することで研究成果が上がり、付加価値のついた製品が完成すれば、営業や販売にも勢いがつくものである。このように好循環になれば企業は発展し、利益も増え、無理に経費を抑える必要はないが、デフレになり物が売れなくなると投資意欲は削がれ、会社を維持するだけ費用がかかるようになる。結局は人件費に目をつけられ、リストラに繋がってしまう。人材も減り現場に負担がかかってくるのである。

経費を一般家庭に例えてみると、大雑把であるが人件費は食費、研究開発費は子どもの教育費、営業交際費は車輦代やお小遣い、福祉厚生費はレジャーや遊興費となるのか。人件費は企業の屋台骨を支える人材であり、会社の命を支えるもので人間が生きていくための食事と同様と考えた次第である。研究開発費は、会社将来を見据えて長期計画を立てていくが、家庭で子供を育て、いずれは後継する人材にするのと似ていると思われる。自身の例えは一方的とは思いますが、当たらずとも遠からずと思っている。いずれにせよ、家庭でも経費の節減を考えると、他の科目にも影響を及ぼし、家庭内騒動になることもある。やはり給料が上昇しないと財布の紐が緩まない。給料は企業に利益をもたらした結果であり、利益を得るには経費を圧縮していかなければならないのである。企業の存続がないと国民は食べていけなくなる。

経費の削減の必要性は理解できても、実現するには現場に軋轢を生じさせる。管理者は部下に強要するし、末端まで浸透させるには中間管理職が板挟みになってくる。誰だって経費が膨らめば、企業収益が下がることは自明の理なので、コスト削減が課題になれば向き合わなければならず、義務感や使命感を植えつけられる。反対したり非協力者は現場には居られなくなるし、迎合的態度をとらざるをえない。成果を上げればさらに目標を高くして運動を盛り上げ限界までと突き進んでいく企業が多くなってきた。リストラの上に病気や怪我で辞めた人の補充もせず、無理難題を押しつけている会社が増え、社員の精神衛生が守られていないようだ。そのために従業員は疲弊し、うつ状態になっている人が増加している。ストレスチェックは有名無実になっている。一番の原因は経費節減の波が押し寄せており、デフレ経済はさらに悪化するような気がしている。社員も潰れかかっている。

お楽しみ会～パフェ～

平成28年9月28日

9月のお楽しみ会はパフェを作って食べました。



フルーチェの上にアイスや生クリームを重ねて作りました。皆様から「おいしかった」「おかわりしたい」等の感想をいただきました。

避難訓練

秋の避難訓練を行いました。



江戸川病院 10月行事予定

♪ 南部小学校コンサート ♪

日時：10月15日(土)

14:00～

場所：D棟 訓練室